

# 研 修 報 告 書

令和7年 2月25日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 千 田 貞 之

私が参加した次の研修の結果について報告します。

## 記

1. 研修名 「自治体病院の基礎と課題」について
2. 研修日時 令和7年2月12日（水）

### 3. 研修先

- 「自治体病院の基礎と課題」について  
城西大学経営学部 教授 伊 関 友 伸

### 4. 調査内容感想等

#### ・研修の目的

- 自治体病院の現状と課題を踏まえコロナ禍以降の病院経営の指針を学ぶ
- 総務省「公立病院経営強化ガイドライン」の概要を知り持続可能な地域医療提供体制を確保するための内容を学ぶ

#### ・研修の内容

- 改革から、経営強化、良好な財務がなければよい医療はできない 財務の改善自体が目的ではない
- これからは本格的な少子高齢化が到来する、今までと同じ医療提供のあり方では、持続可能な体制を確保することは難しい、そんな中で公立病院の果たす役割は大きい 公立病院はバッファ（緩衝材）となり医療体制の

長 浜 市 議 会

すき間を埋めることが求められる。

- 機能分化・連携強化は再編ネットワーク化と比べ、病院や経営主体の統合より病院間の役割分担と医師派遣等による連携強化に主眼を置き変化に合わせ病院事業債等がかくじゅうされている
- 自治体病院は独立採算が原則であるが、経営に収入が見込めない経費は一般会計からの繰り出しが認められる この繰り出し金は地方交付税措置が認められている
- 総務省は一般会計繰入後の経常収支での黒字を重視している 繰入金を入れることを必要であることを認めている 税金投入をゼロを進めているわけではない
- 病院事業債の概要を知り有効に利用する 不勉強で不採算地区対象自治体の存在を知る
- 病院統合再編、建て替え、個室化、必要性 国の財政的支援

・研修の結果を本市にどのように反映させるか

- 市民病院の存続なくして再編はないことを研修を通じて知った 再編を急ぐあまり病院の役割、存在意義等間違った方向性を押し付けているように思う
- 基本的な立ち位置として市民病院2病院は公的自治体病院、長浜赤十字社は公的な民間病院であることの役割、分担を把握すること
- 地方自治体病院は厚生労働省、総務省において守らなければ公的病院であることを踏まえて持続可能な病院として存続しなければならない
- 人口減少に伴い医療圏の充実は県の役割であり相互で十分な協議を重ねることが重要であることを認識した
- 湖北病院の建て替えはへき地医療拠点病院として又、過疎債の利用をもって早急な建設をしなければならない 伊関先生の試算でも4分の1負担で可能であることを活用してほしい